

たのしい冬フェス雪合戦®のルール

- 競技概要：

- 競技時間内に、雪球を相手チームの競技者に投げ当てる。
- 競技時間内に相手チームのチームフラッグを抜く。
- 3 セットマッチ（1 セット 3 分間）で、2 セット先取したチームを勝ちとする。

- チーム編成：

- 1 チーム 10 名を基本とし、試合出場選手 7 名、補欠選手 2 名、監督 1 名で構成する。ただし、最低 7 名でも競技に参加できる。
- 競技者はフォワード 4 名、バックス 3 名で構成する。
- 監督は、競技者を兼ねられる。
- 特別ルールとして、双方同じ選手人数であれば、選手 7 名以上でもコート内可とする。

- 競技者：

- フォワードは、自コートのバックラインより前方のすべてを競技範囲とする（自陣バックラインから後方には下がることはできない）。

- コート：

- 長さ 36m、幅 10mのコートを使用。

- コート内にはシェルター5 基、シャトー2 基の壁があり、双方の陣にチームフラッグを立てる。
 - コートの長辺をサイドライン、短辺をエンドライン、コートを二分するラインをセンターラインとする。また、センターラインとエンドラインの間に引かれるラインはバックラインとする。
- 雪球：
 - 雪球の大きさは直径 6.5～7cm、1 セットに使用できる数は 90 個。
 - 3 分の 2 以下の雪球、アウト競技者が持っている雪球、コート外にある雪球、コート外から入ってきた雪球は無効雪球となる。
 - 競技中に壊れた雪球を、さらに雪を加えて作り直した雪球、ほかの雪球と合わせて作り直した雪球、競技中に新たにつくられた雪球は不正雪球となる。

選手のスタイル

- ヘルメット：大会主催者が用意します。
- ユニフォーム：ゼッケンを主催者が準備します。ウェア等の上から着用。
- 手袋：各選手が用意し、薄手の素材が好まれる。投げやすさを考慮する。
- シューズ：金属製のスパイクは禁止され、ゴム製の滑り止めがついたシューズ可

試合に使うもの

- チームフラッグ：
 - フラッグは主催者側用意。大きさは縦 50cm×横 70cm で、自陣ポールにつける。
- 雪球製造器：
 - 1 度に 45 個の雪球を作れる。1 試合に必要な雪球は 1 セット 90 個×3 セットで 270 個。
- シェルターとシャトー：
 - コート上の壁。材質は特に指定されず、雪や木などが使用される。シャトーの後ろに雪球を置いて試合を開始。

その他諸連絡

- 着替えや履き替える靴を持参ください。特に靴下は何足あってもいいと思います。トレシューもあります。
- 椅子等はありませんので、各自で持参ください。ゲレンデに会場が作られますので、安全面から観戦エリアや休憩等は決められたエリアになりますので、当日の案内に従っていただきますようご理解ご協力お願い致します。